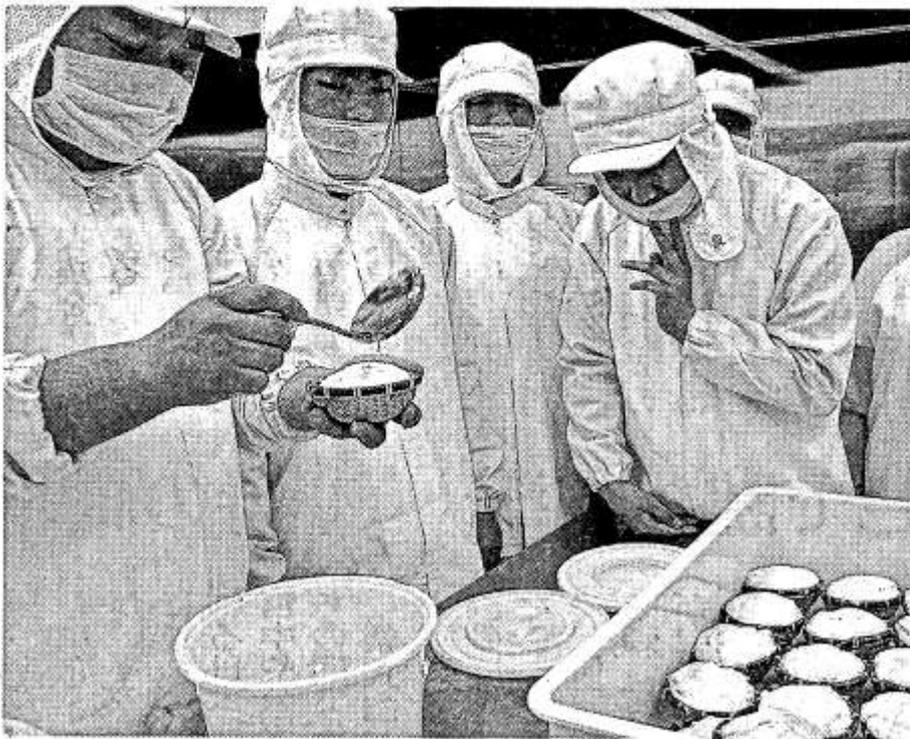


授産施設でおいしい豆腐

2008年4月18日 読売新聞

授産施設でおいしい豆腐



ざる豆腐作りに励む利用者ら（福山市引野町南の「手づくりとうふ工房」で）

福山市引野町南、身体障害者授産施設「ジョイ・ジョイ・ワーク引野」（池田正則理事長）が利用者の自立支援のために、製造から販売までを自分たちで担当する「手づくりとうふ工房」を敷地内に建設、19日にオープンする。利用者らは商品作りの腕を磨こうと精を出しており、多くの来店を心待ちにしている。

2006年4月に障害者自立支援法が施行され、利用者一律の施設使用料が求められるようになった。同施設でも、意欲的に働いて収入も得られる手段を模索。豆腐を生産、販売している宮城県蔵王町の知的障

福山に工房 製造から販売まで、あす開業

害者授産施設「蔵王すずしろ」が、福祉施設向けに研修会を開いていることを知り、工房建設を決めた。

温めた豆乳ににがり混ぜ、冷やして固め、豆腐を作る。一日にざる豆腐やおぼろ豆腐など計50個と豆腐プリン20〜30個を製造、販売する。3月末に完成したばかりの工房では、利用者8人と職員2人が連日「蔵王すずしろ」職員の指導でおいしい豆腐作りに励んでいる。

同市多治米町、向井裕哉さん(23)は「作った物を、人に食べてもらうのは初めて。お客さんに『おいしい』と言ってもらえるよう頑張りたい」と意気込んでいる。

19日は開店記念として、午前11時半からおでんや巻きずしなども販売する。通常の営業は平日の午後1〜5時の予定。問い合わせは、同工房（084・971・5770）へ。